

-日商簿記3級検定試験-

第1問(仕訳)項目別対策

#7

～今回の対策項目～

仮払金 ・ 仮受金
(ICカード)

預り金 ・ 未払金
(給料の支払い)



解説動画URL

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



第1問(仕訳)項目別対策

<日商簿記3級検定試験について>

- ・試験時間 : 60分
- ・合格点 : 70点以上

	第1問【仕訳問題】	第2問【その他】	第3問【決算関連】
主な出題内容	現金預金 商品売買 貸付金・借入金(利息の計算) 貸倒れの処理 費用の支払い 消費税・法人税 仮払金・仮受金 固定資産(購入・売却等) 剰余金の処分・配当 決算整理・決算振替 伝票の推定 証ひょうの読取り	勘定記入(T字勘定) 補助簿の選択 理論問題(語句穴埋め) 伝票(伝票の記入) 伝票(仕訳日計表) 商品有高帳 固定資産台帳	精算表の作成 損益計算書・貸借対照表の作成 決算整理後残高試算表の作成
配点	45点(3点×15問)	20点	35点
おすすめの解答手順	①(15分)	③(15分)	②(25分)
ポイント	ここで確実に高得点を! 目標は13問(39点)以上	初見で「難しい!!」と思わず冷静に! 確実に取れるところから部分点を!	時間を意識しつつ高得点を! 貸借の合計が一致しなかった時は 「必殺後回し!!」で次に進むこと!

第1問(仕訳)項目別対策

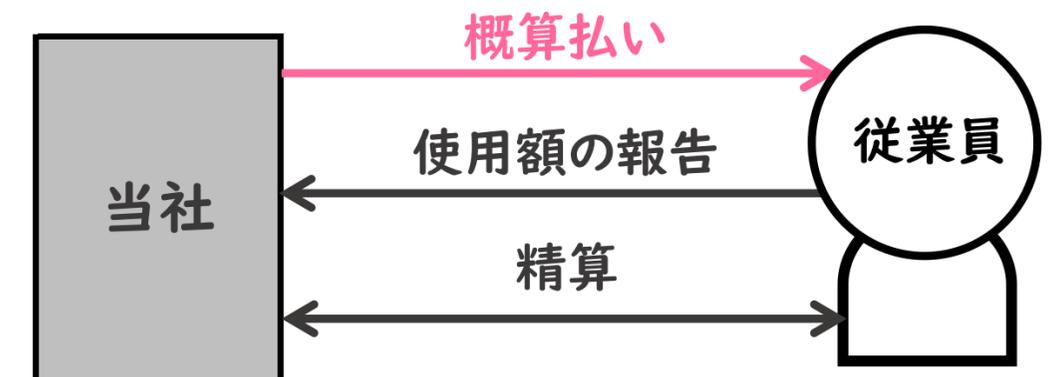
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題1》

従業員が出張から戻り、旅費の精算を行ったところ23,000円との報告を受けた。概算払いとして20,000円を手渡していたが、不足額を従業員が立替えているため、次の給料に含めて支払うこと(未払金勘定で処理)とした。

○用語○

概算払い…だいたいの金額で支払うこと
精算…金額を確定させること



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題2》

交通系ICカードに現金10,000円を入金(チャージ)し、領収証の発行を受けた。なお、当社はICカード入金時(チャージ時)に仮払金勘定で処理し、利用時に適切な科目へ振替える方法を用いている。

～仕訳のタイミング～

- ①.入金時
- ②.利用時
- ③.決算時(期首)



●Point●

ICカードには、入金時(チャージ時)に「仮払金」勘定や「貯蔵品」勘定で処理する方法【原則】と「旅費交通費」勘定で処理する方法【簡便的方法】があるので問題文から読み取ること。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題3》

交通系ICカードを用いて、電車代6,000円、消耗品1,000円を支払った。
なお、当社はICカード入金時(チャージ時)に、仮払金勘定で処理し、
利用時に適切な科目へ振替える方法を用いている。

～仕訳のタイミング～

- ①.入金時
- ②.利用時
- ③.決算時(期首)



●Point●

ICカードには、入金時(チャージ時)に「仮払金」勘定や「貯蔵品」勘定で処理する方法【原則】と「旅費交通費」勘定で処理する方法【簡便的方法】があるので問題文から読み取ること。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題4》

交通系ICカードに現金10,000円を入金(チャージ)し、領収証の発行を受けた。なお、当社はICカード入金時(チャージ時)に全額を費用処理し、決算時に残高を仮払金勘定へ振替える方法を用いている。

～仕訳のタイミング～

- ①.入金時
- ②.利用時
- ③.決算時(期首)



●Point●

ICカードには、入金時(チャージ時)に「仮払金」勘定や「貯蔵品」勘定で処理する方法【原則】と「旅費交通費」勘定で処理する方法【簡便的方法】があるので問題文から読み取ること。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題5》

交通系ICカードを用いて、電車代6,000円、消耗品1,000円を支払った。
なお、当社はICカード入金時(チャージ時)に全額を費用処理し、決算時に
残高を仮払金勘定へ振替える方法を用いている。

~仕訳のタイミング~

- ①.入金時
- ②.利用時
- ③.決算時(期首)



第1問(仕訳)項目別対策

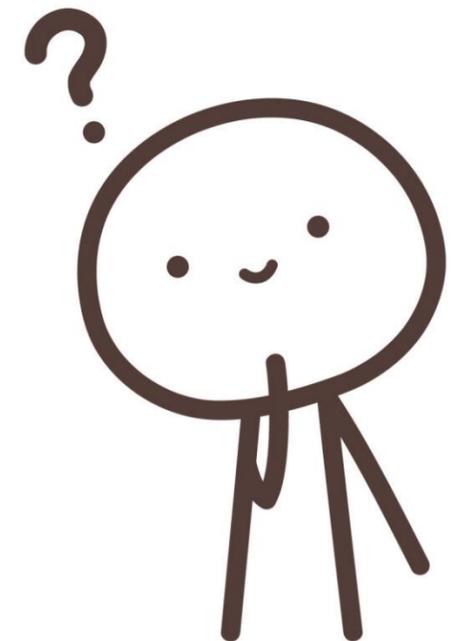
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題6》

出張中の従業員から当座預金口座に25,000円の入金があった。このうち、20,000円は得意先A社から注文時に受け取った手付金であることが判明したが、残額の内容は不明である。

<判明時の仕訳>

出張中の従業員から当座預金口座へ振り込まれ、仮受金として処理していた5,000円は、得意先A社に対する売掛金の回収額であることが判明した。



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

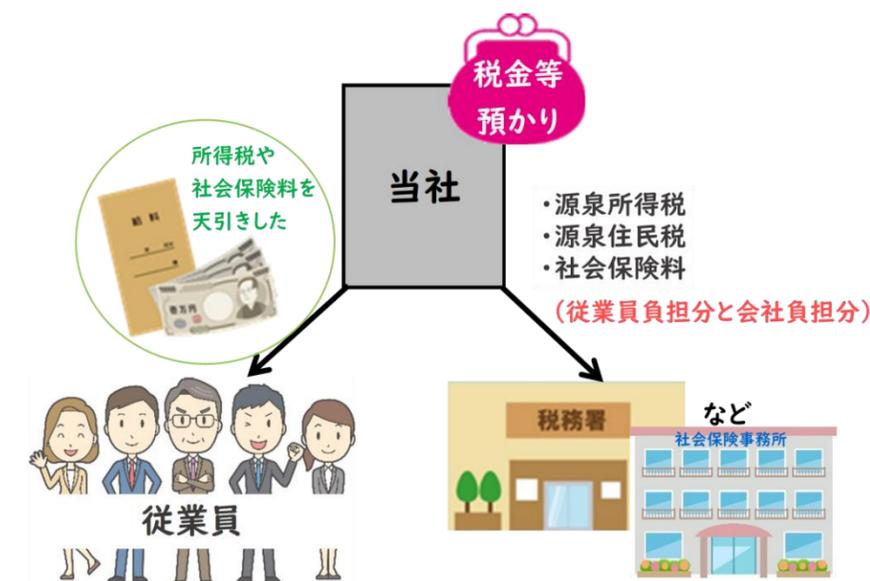
《問題7》

従業員給料300,000円の支給に際し、従業員の生命保険料の立替分4,900円、従業員貸付金の返済額10,100円(元本返済分10,000円、利息分100円)、所得税の源泉徴収額20,000円、社会保険料の合計額15,000円を差引き、残額を普通預金口座から振り込んだ。

～勘定科目について～

- ・所得税預り金(預り金)
- ・住民税預り金(預り金)
- ・社会保険料預り金(預り金)
- ・従業員立替金(立替金)
- ・従業員貸付金(貸付金)

※問題で与えられた勘定科目を用いること



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題8》

従業員の給料から差し引いていた1月分の所得税の源泉徴収額20,000円を税務署に現金で納付した。

～勘定科目について～

- ・所得税預り金(預り金)
- ・住民税預り金(預り金)
- ・社会保険料預り金(預り金)
- ・従業員立替金(立替金)
- ・従業員貸付金(貸付金)

※問題で与えられた勘定科目を用いること

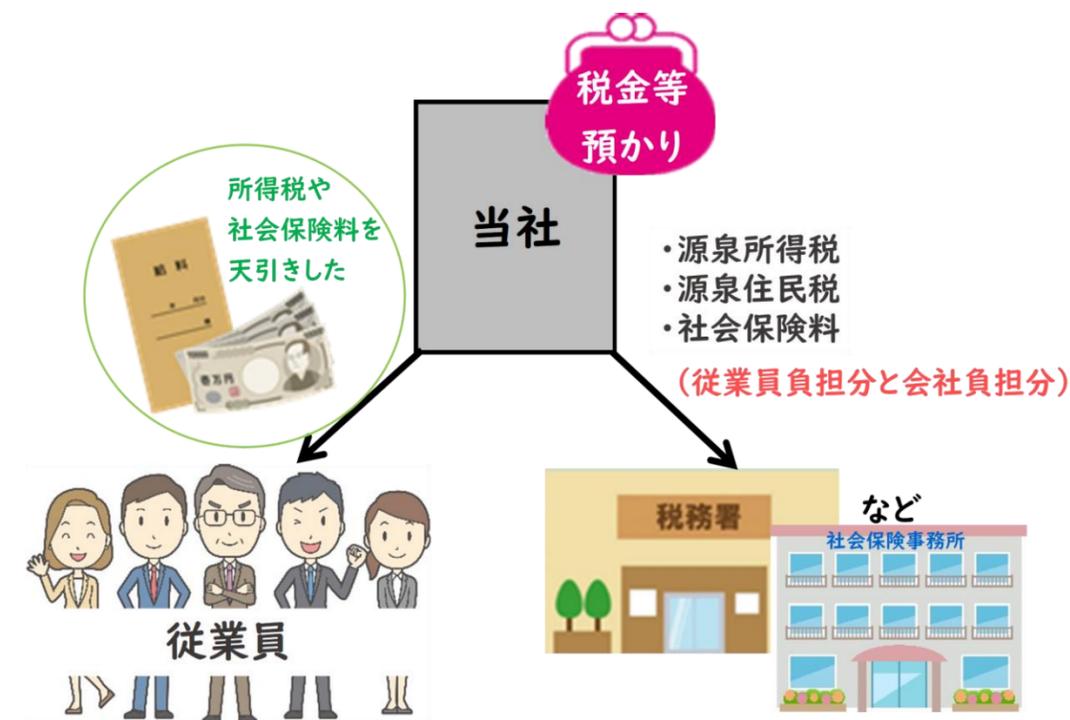
○用語○

所得税…毎月の所得に応じて課せられる税金
(毎月分は概算なので年末調整を行う)

住民税…前年の1/1～12/31の所得に課せられる税金(納付は市町村)

社会保険料…国が国民の生活を保障するために設けた公的な保険制度のこと

法定福利費…社会保険料(健康保険料や厚生年金保険料等)の会社負担分



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題9》

従業員の給料から差し引いていた1月分の社会保険料の
従業員負担分15,000円と会社負担分(従業員負担分と同額)
をまとめて現金で納付した。

～勘定科目について～

- ・所得税預り金(預り金)
- ・住民税預り金(預り金)
- ・社会保険料預り金(預り金)
- ・従業員立替金(立替金)
- ・従業員貸付金(貸付金)

※問題で与えられた勘定科目を用いること

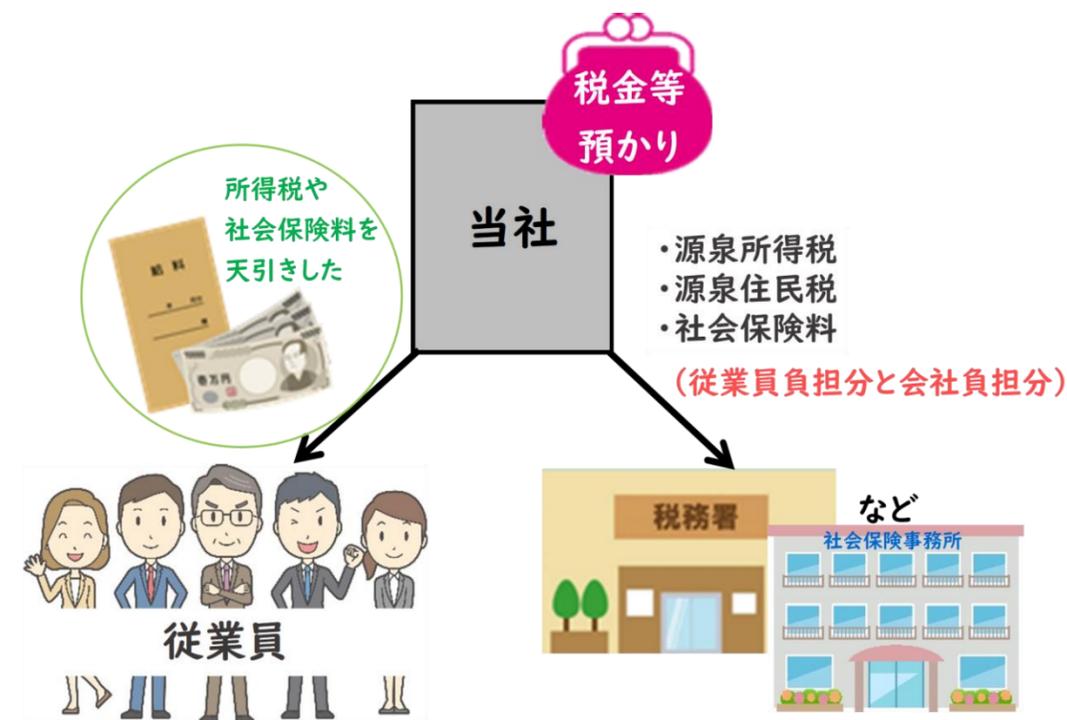
○用語○

所得税…毎月の所得に応じて課せられる税金
(毎月分は概算なので年末調整を行う)

住民税…前年の1/1～12/31の所得に課せられる税金(納付は市町村)

社会保険料…国が国民の生活を保障するために設けた公的な保険制度のこと

法定福利費…社会保険料(健康保険料や厚生年金保険料等)の会社負担分



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題10》

従業員の給料から差し引いていた1月から6月までの所得税の源泉徴収額120,000円を現金で納付した。なお、当社は所轄の税務署より納期の特例承認を受けている。

～勘定科目について～

- ・所得税預り金(預り金)
- ・住民税預り金(預り金)
- ・社会保険料預り金(預り金)
- ・従業員立替金(立替金)
- ・従業員貸付金(貸付金)

※問題で与えられた勘定科目を用いること

●Point●

所得税の納付は、原則「毎月納付」であるが、特例として、所轄の税務署に申請書を提出し、承認を得ることで年2回(1月～6月・7月～12月)に分けての納付ができる。

